

忠海まちづくり通信

Efforts To Attractive TADANOUMI

平成29年3月1日

第2号

発行：竹原市建設部都市整備課
TEL 0846-22-7749

忠海のまちをよりよいものにするために、この通信では、まちづくりの話し合いの経過報告を中心に、忠海のまちづくりの取り組みについて、地域の皆さまに情報発信していきます。

忠海の魅力あるまちづくりにむけて

忠海プロジェクトが始動！！

去る2月18日、忠海プロジェクトの第1弾として、特別講演会とまち歩きを中心としたワークショップを開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。〔特別講演会 約50名／まち歩きワークショップ 約20名〕

第1部

星野新治氏（一般社団法人ノオト）による特別講演会 歴史的資源を生かした観光まちづくり



特別講演会では、本プロジェクトのアドバイザーである一般社団法人ノオトの星野新治氏から、兵庫県篠山市での古民家を活用した観光まちづくりの取り組みを通した、これからのまちづくりの考え方をお話いただきました。

人口減少の時代の地域空間づくりー保存から活用へー

人口減少が進展するこれからの時代において、未利用地や空き家が増加していくことで、現在の町並みを維持していくことが困難になると想定されます。そのような流れのなかでは、新しい施設を整備していくことや歴史のある建造物をそのまま保存していくよりも、宿泊施設やレストラン、カフェ、工房などへの転用を行うなど、積極的に活用しながら保存していく、という考えへの転換が重要であるとお話いただきました。

篠山での古民家再生のまちづくり

城下町である篠山では、これらの考えを基にして、古民家など約60軒を宿泊施設やレストラン、カフェなどに再生・活用したまちづくりの取り組みを行っているとのこと。古民家を宿泊施設やレストランに再生した「集落丸山」やまち全体をホテルに見立てた「NIPPONIA」など、まちを回遊しながら過ごしてもらう観光体験を提供し、新しい人の流れをつくり出しています。

空き家はまちの資源

空き家を活用することで新しい雇用が生まれ、それらが連鎖することで新しい人の流れが生まれる篠山での取り組みでは、地域のコミュニティやまちの産業が再生・創出されています。その舞台となる空き家は、地域にとって大切な資源であり、忠海にもたくさんの資源や可能性があるとのことをお話をいただきました。



講演する星野氏



城下町ホテルNIPPONIAの宿泊棟ONAE（篠山市）



講演会の様子

第2部

まち歩きワークショップ

忠海の地域資源を発掘 ここにしかないものを見つける

特別講演会後の第2部まち歩きワークショップでは、アドバイザーの星野氏と一緒に、忠海中町地区を中心とした1.5kmのコースを約50分ほど歩き、まちの資源、忠海にしかない資源を探しました。まち歩き中は、素敵だと思った資源とその理由をカードに記し、その後会場に戻ってきてから、大きな地図にその場所をシールでマークして、参加者全員で意見交換を行いました。

魅力的な場所・建物の発見と共有

まちを歩きながら、皆さんが感じた魅力的な場所や建物について、魅力的なポイントや昔の姿を教え合いながら共有しました。意見が重なる場所や建物も多く、今後の取組みに取り入れていけそうです。

星野氏から

忠海の活性化を図るためには、バラバラの場所で何かやっていくのではなく、まずは取っ掛かりとなる場所や、集中的に取り組んでいく小さなエリアを決めて、顔づくりを行っていくと良い、というアドバイスをいただきました。

今後は、「誰に」、「何をしに」来てもらう場所としたいのか、何が「他にはない」、「忠海にしかない」特徴なのか、を一緒に考えていきたいとおっしゃっていただきました。

次回の予定

どんなまちであってほしいか、どんな光景を見たいか、を共有し、まちのコンセプトにつながる将来のまちの姿やキーワードを抽出します。また、それらを基に、「すぐに」できそうな取組みを考え、プロジェクトづくりを行う予定です。



まち歩きの様子



ワークショップの様子



意見交換の様子

歩いたコース(約1.5km)

普段とは違う目線で、まちを歩き、じっくりとまちを観察してみてください！
いつもとは違う姿が見えてくるかも

